

オーストラリア東部に分布するデボン紀Dulladerry火山岩の古地磁気学研究：ゴンドワナの古生代APWPに対する考察（予報）

Preliminary paleomagnetic results from Devonian dulladerry volcanics, east Australia:
Paleozoic APWP of Gondwana

三木 雅子 [1], Chris Klootwijk [2]

Masako Miki [1], Chris Klootwijk [2]

[1] 神戸大・理・地球惑星, [2] オーストラリア地調

[1] Earth and Planetary Sci., Kobe Univ., [2] Australian Geological Survey Organisation

ゴンドワナの古生代のAPWPを確立するためにオーストラリア東部、Lachlan 褶曲帯にあるデボン紀のDulladerry火山岩の24地点で岩石を収集し、古地磁気学の研究を行った。段階熱消磁及び交流消磁実験の結果、500度以上の熱消磁によって9地点から初生磁化の方向を得ることができた。これらは褶曲テストに合格し、また、正帯磁と逆帯磁の方向を含んでいる。9地点の平均方向は偏角 = - 174.8度、伏角 = 43.3度、95%信頼円の半径は14.6度である。これから求めたVGPIは緯度 = - 80.9度、経度 = 359.8度で今までの研究で求められた中期から後期のデボン紀のポールと良く一致する。

ゴンドワナの古生代のAPWPを確立するためにオーストラリア東部、Lachlan 褶曲帯にあるデボン紀のDulladerry火山岩の24地点で岩石を収集し、古地磁気学の研究を行った。段階熱消磁及び交流消磁実験の結果、500度以上の熱消磁によって9地点から初生磁化の方向を得ることができた。これらは褶曲テストに合格し、また、正帯磁と逆帯磁の方向を含んでいる。9地点の平均方向は偏角 = - 174.8度、伏角 = 43.3度、95%信頼円の半径は14.6度である。これから求めたVGPIは緯度 = - 80.9度、経度 = 359.8度で今までの研究で求められた中期から後期のデボン紀のポールと良く一致する。